

地域経済動向レポート

調査時期	2025年1月			対象期間	2024年10月～12月	
対象事業所	<b>小規模事業者対象</b> ①振興モニター 176件 (うち回答91件)      ②市内金融機関取引先19件 (うち回答19件)					
全産業合計	<b>110件</b> ※全調査対象195件 中回答110件      = 回収率56.4%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	17	35	6	14	30	8
付帯調査	【付帯調査】今回はなし					

【全体の動向】

市内小規模の売上DIは（前回4.3→今回11.1）と好転したが、先行きは悪化の見通し。

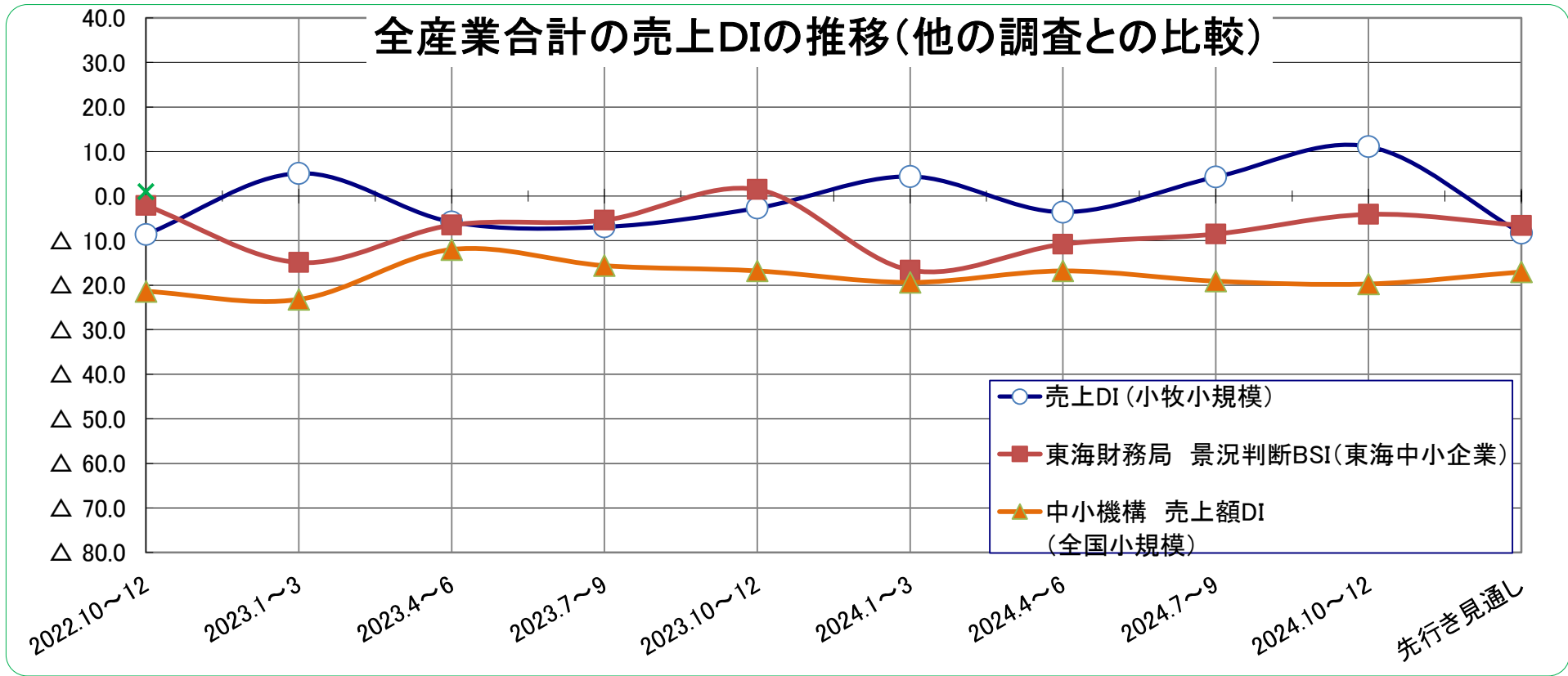
中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは（前回△19.1→今回△19.7）とマイナス幅はほぼ横ばい、先行きはマイナス幅縮小の見通し。

東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断ではマイナス幅が縮小（前回△8.5→今回△4.1）し、先行きはマイナス幅が拡大の見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業、全国とも先行きはマイナス傾向にある。

※DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

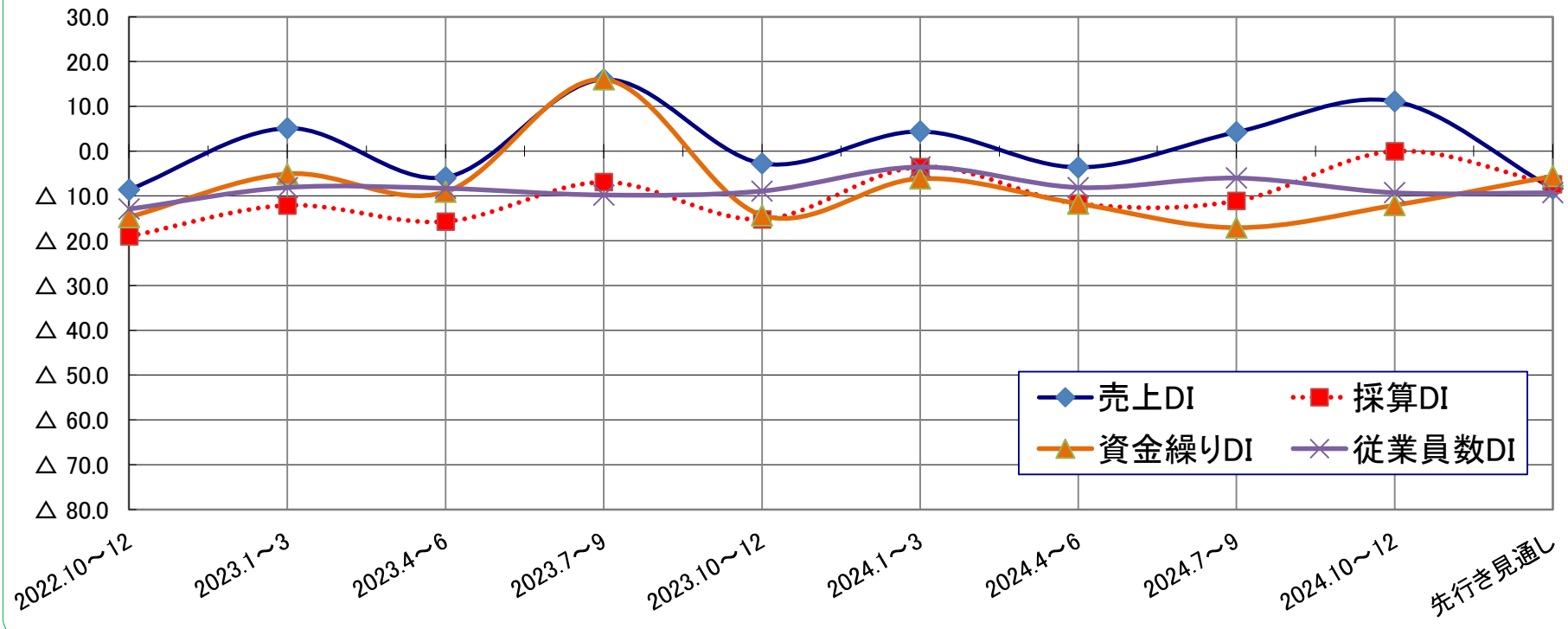
## 【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I**は2024年4～6月の調査より改善（前回4.3→今回11.1）し、先行きは悪化の見通し。
- ② **採算D I**はマイナス幅はほぼ横ばい（前回△11.1→今回0）だが、先行きはマイナス幅が拡大の見通し。
- ③ **資金操りD I**もマイナス幅が拡大（前回△17.1→今回△12.0）し、先行きはさらにマイナス幅が縮小の見通し。
- ④ **従業員D I**は、不足の傾向はマイナス幅が縮小（前回△6.0→今回△9.3）し、先行きは横ばいの見通し。



調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 8.3
中小機構 売上額DI (全国小規模)	△ 21.4	△ 23.2	△ 12.0	△ 15.6	△ 16.8	△ 19.4	△ 16.8	△ 19.1	△ 19.7	△ 17.0
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 2.1	△ 14.9	△ 6.5	△ 5.4	1.5	△ 16.6	△ 10.8	△ 8.5	△ 4.1	△ 6.6

### 全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
売上DI	△ 8.6	5.1	△ 5.8	16.0	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 8.3
採算DI	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	0.0	△ 7.4
資金繰りDI	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	16.0	△ 14.3	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 12.0	△ 5.6
従業員数DI	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 9.3	△ 9.3

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
全産業	△ 8.6	5.1	△ 5.8	16.0	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 8.3
建設業	△ 15.0	117.0	15.0	0.0	20.0	0.0	0.0	15.0	17.7	0.0
製造業	20.0	3.3	8.6	△ 6.7	△ 8.8	16.7	△ 3.2	8.6	8.6	5.7
卸売業	△ 36.4	28.6	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	0.0	△ 100.0	△ 40.0	△ 33.3	16.7
小売業	△ 29.4	△ 31.3	△ 20.0	△ 23.5	△ 33.3	0.0	△ 25.0	△ 23.5	△ 21.4	△ 14.3
サービス業	△ 12.0	20.0	△ 8.8	14.3	20.6	3.2	14.3	17.7	43.3	△ 16.7
その他	△ 25.0	37.5	△ 50.0	△ 57.1	△ 37.5	△ 14.3	△ 16.7	△ 16.7	25.0	△ 12.5

【POINT】売上DIは、卸売の先行きが大きく改善の見通し。一方、サービス・その他業種で大幅に改善されたものの、先行きは大幅に悪化の見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
全産業	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	0.0	△ 7.4
建設業	△ 15.0	△ 11.1	10.0	△ 11.8	△ 6.7	△ 8.7	△ 20.0	△ 15.0	0.0	△ 5.9
製造業	2.9	△ 20.0	△ 14.3	△ 3.3	△ 20.6	16.7	△ 3.2	2.9	2.9	2.9
卸売業	△ 27.3	14.3	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 20.0	△ 66.7	△ 40.0	△ 33.3	0.0
小売業	△ 29.4	△ 12.5	△ 25.0	△ 23.5	△ 13.3	△ 16.7	△ 18.8	△ 23.5	△ 28.6	△ 14.3
サービス業	△ 40.0	△ 15.0	△ 17.6	14.3	△ 5.9	△ 3.2	△ 2.9	△ 8.8	16.7	△ 16.7
その他	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 42.9	△ 37.5	△ 28.6	△ 33.3	△ 33.3	12.5	△ 12.5

【POINT】売上に連動し、卸売の先行きが大きく改善の見通し。一方、サービス・その他業種で大幅に改善されたものの、先行きは大幅に悪化の見通し。

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
全産業	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	16.0	△ 14.3	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 12.0	△ 5.6
建設業	△ 15.0	117.0	0.0	△ 5.9	△ 6.7	0.0	△ 15.0	△ 20.0	△ 17.7	△ 5.9
製造業	△ 5.7	△ 13.3	△ 11.4	△ 3.3	△ 20.6	△ 3.3	△ 16.1	△ 14.3	△ 14.3	0.0
卸売業	△ 18.2	0.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7	0.0	△ 33.3	△ 20.0	△ 33.3	0.0
小売業	△ 23.5	△ 6.3	△ 10.0	△ 23.5	△ 20.0	△ 11.1	0.0	△ 29.4	△ 28.6	0.0
サービス業	△ 16.0	0.0	△ 2.9	10.7	△ 8.8	△ 3.2	△ 5.7	△ 8.8	△ 3.3	△ 10.0
その他	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 14.3	△ 12.5	△ 42.9	△ 33.3	△ 33.3	0.0	△ 12.5

【POINT】資金繰りDIは卸売が悪化に対し、その他業種ではマイナス幅が縮小。先行きは建設・製造・卸売・小売りが大幅にマイナス幅が縮小の傾向。

●従業員DIの推移（小規模）

調査実施月	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	2025.1	
調査期間	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12	先行き見通し
全産業	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 9.3	△ 9.3
建設業	△ 15.0	△ 11.1	△ 15.0	△ 23.5	△ 20.0	△ 4.3	△ 15.0	△ 15.0	△ 5.9	△ 11.8
製造業	△ 20.0	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.0	△ 8.8	0.0	△ 9.7	0.0	0.0	△ 2.9
卸売業	0.0	△ 28.6	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	0.0	△ 20.0	△ 16.7	△ 33.3
小売業	△ 5.9	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	△ 11.1	△ 12.5	△ 5.9	△ 21.4	△ 14.3
サービス業	△ 16.0	△ 5.0	△ 5.9	△ 10.7	△ 5.9	△ 3.2	△ 2.9	△ 2.9	△ 6.7	△ 3.3
その他	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	12.5

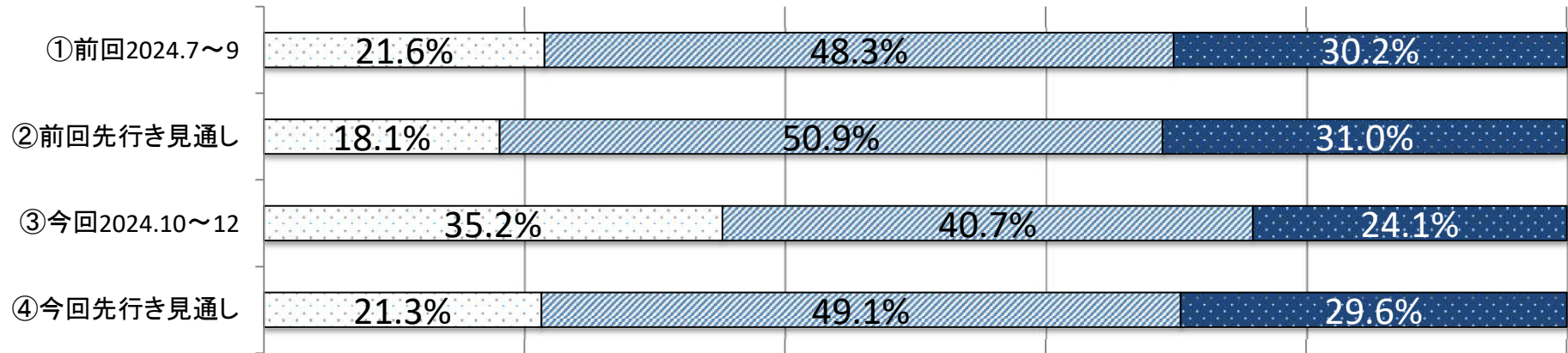
【POINT】従業員DIは、建設・その他業種でマイナス幅が縮小、卸売・その他業種で人員不足が顕著。先行きは建設・サービスで改善、卸売が大幅に不足する見通し。

業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	一部コスト高の補填を元請けが限定的にして貰っている為。 / 商業施設内装
	先行き	単発契約のところは仕入等の上昇分を転嫁できているが、昔からある大手との契約では価格転嫁は出来ていない。 / 電気工事業
製造	現状	今年、全般に自動車業界の生産減少の為、売り上げの減少が続く。 / 小ねじ・ボルト製造
	先行き	単価が合わないことがあり、数をこなして調整していることがある。 / プラスチック金型の設計・制作
卸売	現状	今設備投資額を切り詰めて費用対効果を上げようとしてる様子。 / 産業機械器具卸売
	先行き	天候が好天であれば、順調に推移する見込み。 / 有機野菜の流通卸売
小売	現状	ここ数年、固定脚の大幅な減少がないため、売上不変。 / LPガスの小売
	先行き	令和6年秋～冬に受注したお客様の納品が増加しているため。 / 家具、じゅうたん、カーテン小売
サービス	現状	宴会需要が高まり売上増加。 / 和食全般飲食
	先行き	年末は繁忙期のため年始は下がる。 / 写真業
その他	現状	小牧エリアは、倉庫物件はじめ企業からの引き合いが強い。引き続き需要は強い様子。 / 不動産仲介業・建設業
	先行き	昨年から顧客の動向が停滞しており、この状況が続くようであれば売上は減少する。 / 不動産仲介業

### 小規模の売上(回答割合)

■ 増加 ■ 不変 ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

